



ひと粒と、世界に、愛を

UCCサステナブルビジョンと生産国での活動事例

2022年10月11日
UCC上島珈琲株式会社 農事調査室

グループ経営方針

UCC

ひと粒と、世界に、愛を

OUR VALUES

私たちの価値観

コーヒーの価値探求

地球社会への貢献

挑戦と前進

協働と共創

倫理観と責任

OUR PURPOSE

私たちの存在意義

より良い世界のために、コーヒーの力を解き放つ。

CORPORATE MESSAGE

コーポレートメッセージ

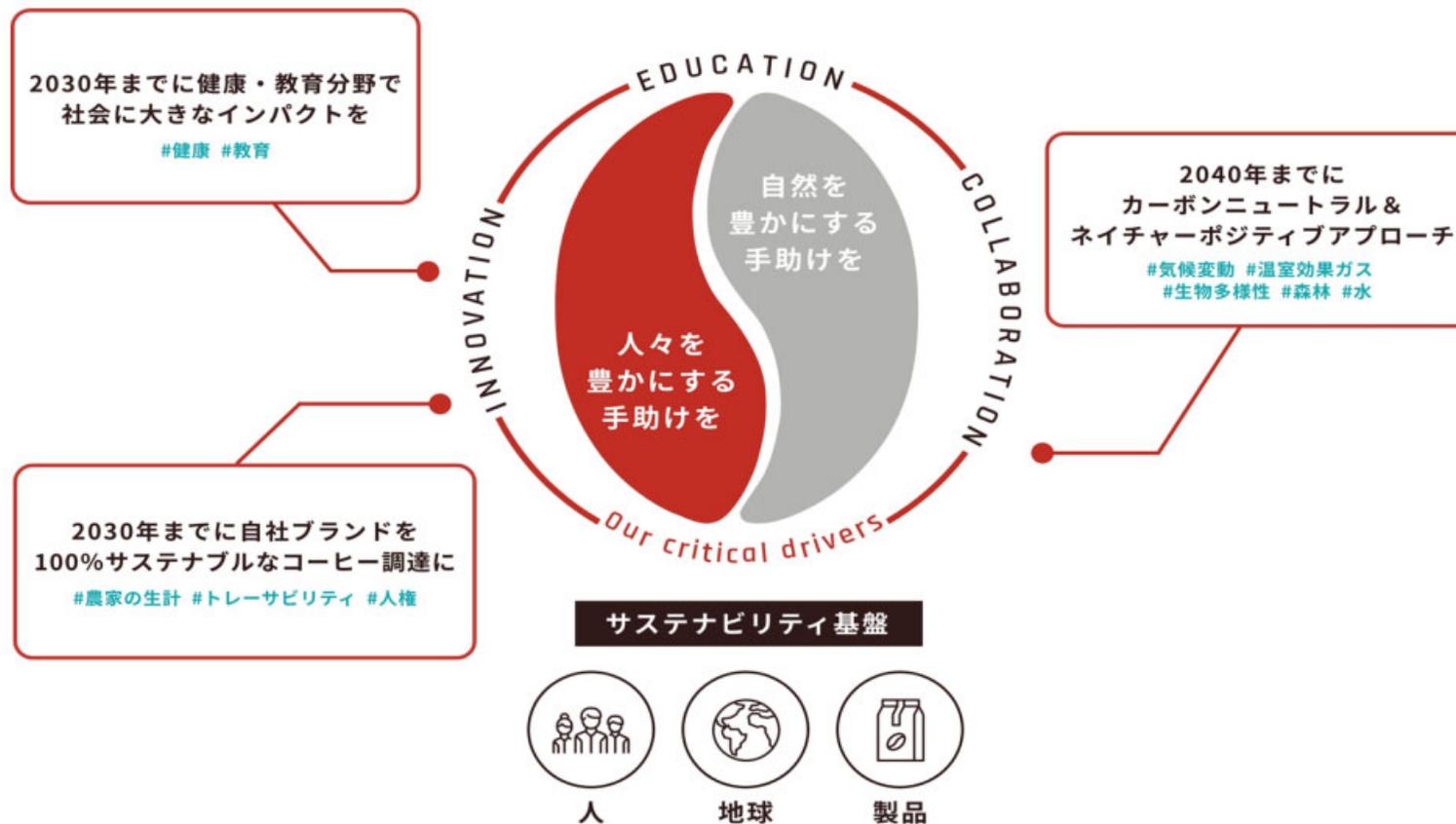
ひと粒と、世界に、愛を

サステナビリティビジョン



ひと粒と、世界に、愛を

サステナビリティビジョン: コーヒーの力でポジティブな変化を





生産国と消費国を繋ぎ

“from Seed to Cup”を体現



生産国支援と消費国でのPRを担い



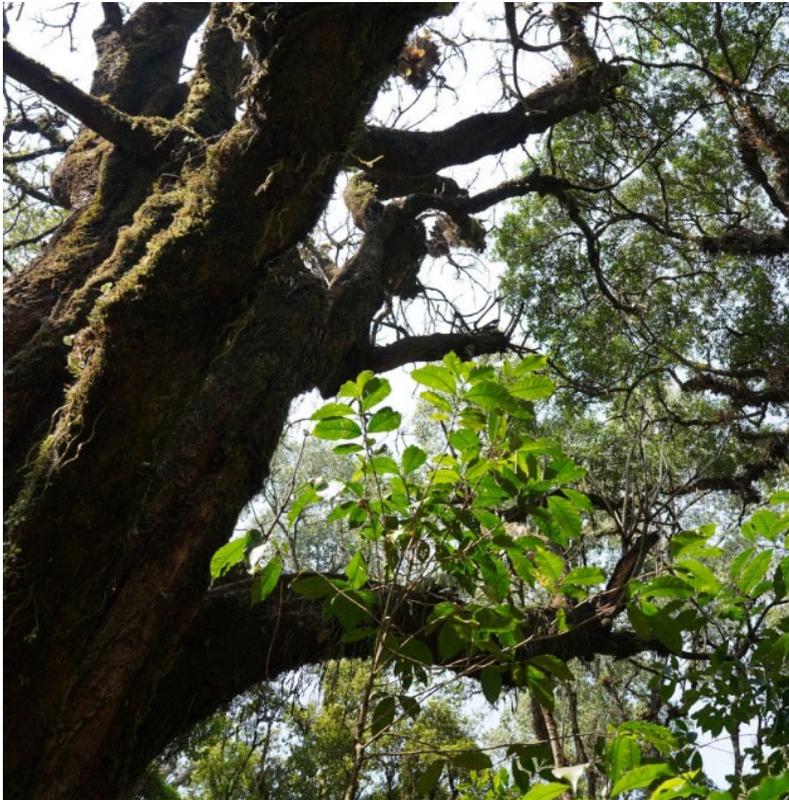
“Sustainability”

= “持続可能性”

へ貢献



ベレテ・ゲラ 森林コーヒープロジェクト



2003年度から始まった
JICAの途上国支援プロジェクト
※UCCは2011年から技術支援

エチオピアの森林率は11%に減少
→わずかに残された森林の多くは
ベレテ・ゲラ地域にある
(東京23区の約3倍)

地域住民で森林を守りつつ、自生するコーヒー
で生計向上：**環境の保全と農業の両立**

- ・ 住民参加型の森林管理
- ・ 地域農家の生計向上支援
- ・ 消費国の日本での製品化

**フォレスとコーヒーを輸出産品に仕上げ、地域の
ブランディングと生計向上に繋げる**

ルワンダ フイエマウンテン OVOP(一村一品運動)



ひと粒と、世界に、愛を



フイエマウンテン (Gako農園)
グラヴィレアのシェードツリーの下でブルボン品種が栽培されている



剪定方法 (スケルトン) の指導
剪定不足で生産性が低下しているため、横枝の剪定方法を指導した



コーヒー生産地区周辺の取水場
SDGsに関する取り組みとして生産地区で取水場整備を支援する予定

ルワンダは東アフリカの赤道直下の国。国土は狭く人口密度がアフリカ一高い。

食糧自給の為、自然破壊が進み、山は切り開かれ畑へ。

ルワンダは、アフリカでも指折りの高品質コーヒーの産出国である。



協力農園でのシェードツリー植樹
日照環境改善のため、シェードツリーの植付計画を示し、植樹を実施。



SPロットとしてのナチュラル生産
すでに一部農園で生産されていることを確認。カップ品質も良好。



ウェットミル、ドライミル増設
品質向上の為にウェットミルを増設、ドライミルを新設。

コーヒー農園には、本来必要なシェードツリーが無く木の成長を妨げている。

更に品質を上げ、環境負荷も和らげる為に、シェード農法への転換が進められている。

自然環境の再生



サンゴ礁の森に眠るコーヒー

北マリアナ諸島・ロタ島。

観光以外に産業の無いこの島の経済は、国際線の廃止や新型コロナウイルス感染症によるパンデミックによって、どん底まで落ち込んでしまった。

そんな中、KFCトライアスロン協会とUCCが協力して、山中に自生しているという幻の野生コーヒー（フォレストコーヒー）を捜し出し、コーヒーを通じて島の復興を実現する。

ROTA BLUE COFFEE PROJECT

UCC

ひと粒と、世界に、愛を



面積85km² (千葉県船橋市とほぼ同じ)
太古の昔珊瑚礁が隆起してできた
石灰岩の島
人口約3000人

グアムとサイパンの間に位置し、2018年、日本からの直行便が廃止、これとあって産業の無いロタ島では頼みの綱の観光業が行き詰まり衰退の一途を辿っていた。



ROTA BLUE COFFEE PROJECT



ひと粒と、世界に、愛を



**原生林と、自生するフォレストコーヒーを観光資源として生かしつつ、放棄された農地を利用して環境負荷の少ないシェード農法を導入して島の外貨獲得の柱へ！
（ベレテゲラ森林保全PJTとルワンダOVOPの経験を活かしたハイブリッド型）**

ひと粒と、世界に、愛を

UCC